

平成23年度 学校経営の改革方針

三重県立あけぼの学園高等学校

I 目指す学校像（基本理念）

- 『強く 明るく 真心で』という校訓のもと、生徒一人ひとりが、あけぼの学園の生徒として「自信と誇り」が持てる学校を目指す。

II 現状と課題

- 1 生徒の授業に取り組む姿勢や集会での態度は向上しつつある。しかし、一部の生徒は学校や社会のルールを守ろうとする規範意識が低く、引き続き職員一丸となった取り組みが必要とされている。
- 2 中学校までに様々なつまづき体験を持つ生徒も少なからずいる。このため、基礎学力の定着により、社会で生きていく力を育むとともに、クラブ活動や資格に挑戦させ、自信を持たせる取り組みが必要とされている。
- 3 地域社会での本校への評価は向上しつつある。今後は、更に地域との交流活動を進めることで地域の信頼を得て、よりいっそう学校への誇りを持てるような取り組みが必要とされている。

III 中長期的な重点目標

- 1 規範意識を育み、地域の信頼を得る。
- 2 生徒が社会で生きていく力を育む。
- 3 クラブ活動や資格取得にチャレンジする精神を培う。

IV 本年度の行動計画

- | |
|---------------------|
| 1 規範意識を育み、地域の信頼を得る。 |
|---------------------|

（組織能力の向上）

- (1) 全職員が一丸となって、ピアス指導をはじめ「そとみ」の指導を徹底する。
（取組指標：校内のあらゆる場所・場面にて、全職員がピアスの預かり指導を徹底する）
（達成指標：ピアス指導をされた生徒数が昨年度を下回る）

（教務・教科・学年）

- (2) イエローカード指導に共同で取り組み、授業規律を高める。
（取組指標：組織的に取り組めるようイエローカードを出す基準を明確にし、職員に周知する）
（達成指標：「教職員アンケート」にて、授業規律の徹底が『できている』が80%以上となる）

（教務・生徒指導・学年）

- (3) 生徒が遅刻・欠席せずに授業に臨むよう規範意識を高める。
（取組指標：怠学を徹底指導するとともに、遅刻常習者には教務部・生徒指導部・学年が共同で個別に指導する）
（達成指標：朝遅刻・授業遅刻とも、総件数が昨年度を下回る）

(教務)

- (4) 本校の特色ある授業を生かして、地域との交流を推進する。
(取組指標：地域の催し物への生徒参加や地域への学校開放など、地域交流事業を1つ以上実施する)

2 生徒が社会で生きていく力を育む。

(組織能力の向上)

- (1) 生徒の実態に即した授業改善を目指し、「なかみ」の指導にチャレンジする。
(取組指標：授業研究に係る研修会を複数回実施し、全教職員が1回以上参加する)
(達成指標：「教職員アンケート」にて、『何らかの授業改善ができた』が80%以上となる)

(キャリア教育担当・学年)

- (2) 生徒の実態に即した系統的なキャリア教育のプログラムを策定し、実施する。
(取組指標：自分の生き方を踏まえた勤労観や職業観が身につくような年間プログラムを策定し、生徒の実態に応じた教材を作成する。)
(達成指標：「生徒アンケート」にて、『自分の生き方について考えることができた』が80%以上となる)

(教務・教科)

- (3) よりいっそう基礎学力を定着させるカリキュラムを策定する。
(取組指標：学校設定科目も含めて基礎学力を定着させるカリキュラムと授業内容を構築する)

3 クラブ活動や資格取得にチャレンジする精神を培う。

(組織能力の向上)

- (1) 職員の指導時間を確保するため、業務の効率化を図る。
(取組指標：昨年度実施していた業務のうち、最低1つをスクラップする)
(達成指標：「教職員アンケート」にて、『業務の効率化ができています』が80%以上となる)

(進路・教科)

- (2) 資格取得へのチャレンジを推奨する。
(取組指標：集会等で資格取得への挑戦を奨励し、各教科はクラスでの広報を徹底する)
(達成指標：各種資格取得試験の受験者総数が、昨年度を上回る)

(生徒指導・学年)

- (3) クラブ活動への参加を推奨する。
(取組指標：各クラブの活躍の様子や大会参加結果を集会等で紹介し、クラブ活動を推奨する)
(達成指標：10月時点で実質的にクラブ活動をしている生徒数が、昨年度を上回る)